



細矢 貴亮, 宮坂 和男, 佐々木 真理, 百島 祐貴●編

『脳脊髄のMRI 第2版』

書評者

嘉山 孝正 (山形大教授・脳神経外科)

初版から10年が経過し「脳脊髄のMRI」が第2版へ改訂された。

この10年間でMRIは、拡散強調画像、磁化率強調画像、拡散テンソル画像をはじめとする新たな撮像法が瞬く間に広く一般化され、さらには3T MRIなど、より高磁場の機器も広まり、まさに日進月歩で進歩している感がある。本書でも、初版後に普及しているこれらの最新画像をもとに改訂され、正常解剖にはすべて3T MRIによる美しい詳細な画像が掲載されており、さらには最新の拡散テンソル画像による詳細な白質線維の描出もされている。これら最近の画像診断の進歩による疾患の病態の解明、さらには治療への貢献には目覚ましいものがあり、すべての神経疾患においてMRIはもはや必須と言える画像検査になっている。

本書は、各疾患の代表所見を数多くの美しいMRI画像で網羅しており、真に難しい鑑別診断に十二分に役立つ内容となっている。

医学は言うまでもなく治療に結びつけることが最も重要である。本書は単に画像診断の紹介ではなく、各疾患の病因、病態、そして治療に結びつくような内容になっている。MRIが登場して初めて明らかになって来た疾患もあり、最近のMRIの進歩による詳細な画像所見は極めて重要であることは疑いもないことである。本書では、各疾患のMRI画像を中心としながら、このMRI所見からその疾患単位で体系立てて知識を得られるようになっていくことも特徴である。そのために、画像所見のまとめ、鑑別診断、疾患の特徴のまとめなどがBoxとして簡潔

明瞭に示されており、これから勉強する若い先生方はもとより専門とする先生方にも知識の整理として役立つ内容となっている。

本書は、画像診断に携わる放射線科医のみならず、神経疾患に携わるすべての医師、脳神経外科、神経内科、精神科、小児科、整形外科、耳鼻科などMRIを日常で扱うすべての臨床医、特にこれから勉強を深めようとする若い先生方に必携の良書であり、心からお勧めできる1冊であると思います。

B5 頁800 2009年 メディカル・サイエンス・インターナショナル刊
定価 14,700 円 (本体 14,000 円 + 税 5%)
[ISBN978-4-89592-599-0]

